



第72回中央委員会

2020年総合生活改善の取り組み方針案

満場一致で可決!

中間活動経過報告・中間会計決算も
拍手多数で承認

スズキ労連加盟組合員の生活を豊かにするため、2020年1月24日(金) 18:00よりスズキ労働組合会館(SUN会館)で、第72回中央委員会を開催し、『2020年総合生活改善の取り組み方針(案)』を満場一致で可決しました。中央委員95名(男性72名女性23名)、傍聴58名(男性47名女性11名)が参加した今回の中央委員会は、森 光弘 議長(スズキ労組大須賀支部)、野島聖子 議長(小楠金属・熱処理労組)の進行の元、開会しました。

スズキ労連武藤会長のあいさつから始まり、古川 正明特別顧問、小玉 俊己特別顧問、はまぐち 誠参議院議員よりあいさつを頂き、報告承認事項として『第48期中間活動経過報告』『第48期中間会計決算報告』『第48期中間会計監査報告』が拍手多数により承認されました。また、議件として『2020年総合生活改善の取り組み(案)』も満場一致で可決されました。その後、田口 章静岡県議会議員と岩田 くにやす浜松市議会議員より政治顧問活動報告があり、最後は武藤会長のがんばろう三唱により閉会となりました。

『変革へのチャレンジ!仲間と築く魅力ある職場 新たな未来!』をスローガンに掲げ、これから始まる、総合生活改善の取り組みを推進していきます。



スズキ労連 第72回中央委員会 武藤会長あいさつ

本日は、お仕事でお疲れのところスズキ労連 第72回中央委員会に全国各地よりご参集頂き、ありがとうございます。



さて、昨年は、平成から令和に元号が変わり、日本の歴史において大きな節目を迎えました。一方で、全国各地で台風などの自然災害が多い年でした。9月に発生した台風15号や10月に発生した台風19号により全国各地に多大な被害をもたらされました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。今後の備えとして、職場、家庭、地域における防災体制、危機管理の更なる徹底を図ることの重要性を、みなさんと共に再認識し合いたいと思います。

本日の中央委員会は、スズキ労連としての2020年総合生活改善の取り組み方針を決定する極めて重要な場となります。具体的方針の内容については、後程、事務局長より提案しますが、方針の策定にあたっては、産業・企業の実態を直視し、今求められている労働組合としての役割、責任を踏まえ、これまでの間、中央執行委員会にて方針案を論議・検討してまいりました。私からは、取り巻く環境及び今次取り組みの持つ意義を中心に、いくつか所感を述べさせていただきます。

はじめに取り巻く環境についてです。取り巻く環境は、米中関係や中東とアメリカの関係、日韓問題など、慢性的となって解決への道筋が容易には見通しにくい地政学リスクに加え、消費税引き上げ後の弱含みの消費者マインド、将来の社会保障への不安などの要因から、依然として個人の消費が伸び悩んでおり、景気回復を実感できる状況にはありません。国内では少子高齢化に伴う労働力人口の減少、技術の進展、革新等に伴うライフスタイルの多様化など、様々な変化に対応することが求められます。日本経済が安定的かつ持続的な成長を遂げていくためには、国内外の様々な変動要因に耐えうる個人消費が経済をリードし底支えする内需主導の経済体質に転換する強固な日本経済を構築していくことが不可欠であり、そのためにも今回の総合生活改善の取り組みを確実かつ強力に推進していかなければなりません。

次に賃金改善の取り組みについてです。私たち労働組合が有する大きな強みの一つは、「労使関係を確立している」ということです。労使は、異なる立場から、労働条件向上のみならず、業績や企業の枠を超えた経済、産業、労働市場等についての関心を共有しながら、生産性の向上とそこから得られる成果の公正な配分を実現するために徹底した協議を重ねる、緊張と相互信頼にもとづいた関係を構築してきました。そして今次取り組みでは、この労使関係を確立している私たちだからこそ「底上げ・底支え」「格差是正」に昨年に引き続き継続して取り組み、さらに強める・拡げることが求められます。私たちは2014年から2019年の総合生活改善の取り組みにおいて、「底上げ」「格差是正」を着実に前進させ、

賃金引上げの流れを波及する一定の役割を果たすことが出来たと考えています。特に2017年からは「大手追従・大手準拠からの構造転換」などに重点をおいて、底上げを強調して取り組んできました。春闘の歴史上、物価上昇がほとんどない中で、多くの組合で改善分を獲得したのは、初めてのことです。「底上げ・底支え」「格差是正」の実現に向けて労使協議を進め、「大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動」の流れの継続・定着・前進をはかり、「賃金は上がるもの」という常識を取り戻していくことが重要です。そして、これを自動車総連、スズキ労連内でさらに深め、非正規労働者も含めた社会全体に広げていく必要があります。

あわせて、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正循環」についても継続して取り組む必要があります。取引条件や価格は賃金だけではなく、働き方でも働く者とながってきます。自分達の働き方の見直しや長時間労働の是正を通じ、自分の職場だけでなく、企業を超えて、仲間の働き方の改善につなげて行くことは、まさに労働運動ならではのアプローチであります。もちろんその前提の取り組みとして、職場労使による働き方改革を一層強化していくべきことは言うまでもありません。長時間労働是正や同一価値労働同一賃金など雇用形態間の均等待遇の実現などをはじめとする「働き方改革」も、私たち労働組合の立場で先頭を切って進めなければなりません。

今次取り組みにおいては、強固な日本経済の構築に向け、生産性三原則の実践による「人への投資」を実現すべく、賃金の引き上げ「底上げ」・「格差是正」に取り組んでいきたいと思っております。具体的には、スズキ労連が一体となって取り組める要求基準として、3,000円以上の賃金改善に取り組むことを提案したいと思います。生産性の向上は経済成長の源泉ですが、適正な成果配分がなければ、真の経済成長にはつながりません。そして、私たちが目指している生産性向上運動は、単純な効率化を目標としたものではありません。人間尊重を基本として、経済・企業の発展のためには、生産性向上に関する経営と労働の協力が必要であり、そのことが労働者の経済的・社会的地位の向上をもたらす、という考え方に基づくものです。

スズキ労連としては、加盟組合間やリード的役割を担うメーカー組合とも連携を密にとりながら、スズキ労連共闘の相乗効果を高めていくと同時に、自動車総連とも情報交換と連携の充実を図り、世論形成など、各組合が取り組み易い交渉環境の整備にも努めていきたいと思っております。

一方、私たち自動車産業を取り巻く環境は、自動運転、電気自動車あるいは電動化へのシフト、つながる車など、今まで以上のスピードで変化が起っています。例えば、海外大手メーカーの電気自動車事業の強化や事業再編による人員削減、他業種との提携発表、SONYの電気自動車コンセプト車の発表などです。スズキ労連加盟の企業内では、この100年に一度と言われる変革が、完成検査での不正等の対応に追われ、出遅れている感がありますが、他社は研究開発を粛々と進め、7月の東京オリンピックに向けて自動運転などのアピールをし

てくと予想されます。経営者はもちろん、私たち労働組合も、労働組合の立場で、働き方、人財の育成を含め考えていかなければならないという危機感を持っています。

また、海外販売の多くを占めるインドは、昨年5月の総選挙以降も、当初の予想と反して市場が回復せず、スズキの第二四半期連結決算では、通期予想売上を3兆9千億円から3兆5千億円に、4千億円も下方修正しました。経営側は、事業の柱である国内、インドの業績に対して相当な危機感を持っています。

従って、今回の取り組みは、これまで以上に厳しい交渉になると思います。企業の未来を見据えた中での交渉になるという認識を皆さんと共有しておきたいと思います。

経営側は、国内外での競争激化や保護貿易主義の台頭による世界レベルでの貿易戦争の拡大などの先行き不透明感の増大によって、コスト・労務費の削減など「人への投資」を抑制してくることが予想されますが、それでは個人消費の活性化につながりません。と同時に、働く者の意欲や活力、そして希望が失われ、企業競争力の最大の源泉を削ぐことにつながります。

経営者には、皆の努力で生み出した付加価値を働く者に適正に配分するからこそ良いサイクルが生まれ、働く者はそう信じるからこそ地に足をつけて懸命に努力し、ひたすら頑張れるということを主張し、企業の経営環境に厳しさが深まる今だからこそ、経営として最優先で考えるべきことは「人への投資」であり、このことは間違いなく将来への活きた投資につながるものであるとのスタンスで今次取り組みを確実に前進させなければなりません。

一方、国内政治の動向にも注視が必要です。1月20日に通常国会が開かれました。

特に補正予算では、本日お越し頂いた「はまぐち 誠」参議院議員をはじめ、自動車総連の組織内議員を中心に、働く者、自動車ユーザーの立場で、議員立法として提案した衝

突軽減ブレーキなどを搭載したサポートカーに対する補助金が、65歳以上の高齢者を対象として政府案に組み込まれています。相次ぐ高齢者の自動車事故防止、被害者救済を目的に政府案となって補正予算に入っておりますが、はまぐち議員、いそぎ議員中心に私たちスズキグループで働く者の声を届けた結果、軽自動車も補助金の対象となっています。予算案の審議は1月から2月末にかけて行われる予定です。ぜひ、国会審議の動向にも注視をして頂きたいと思えます。

また、地方議会においても、スズキ労連 組織内の田口章、岩田くにやすの両地方議員はもちろん、自動車総連組織内地方議員が地方議会で自動車税・軽自動車の負担軽減を求める意見書の提出に向けた活動を行うなど、国、地方の双方で活動してきた結果だと受け止めております。

この他にも私たちの生活に関わる法案や政策に対し、いそぎ議員、はまぐち議員は活動頂いております。本日配布の資料や、各議員のホームページにも動画でまとめられていますので、是非理解を深めて頂きたいと思えます。

私たち働く者、自動車ユーザーの声を直接届けて、国会や地方議会で議論ができるのは、私たちが推薦する議員だけです。昨年4月の統一地方選挙では「田口 章」を静岡県議会に、「岩田 くにやす」を浜松市議会に、7月の参議院議員選挙では「いそぎ てつじ」参議院議員を政治の場に送り出すことができました。組織内議員として、私たちの立場に立った政策を進めてもらっていますので、本日ご参加の皆さん中心に、一層のご支援、ご協力をお願い致します。

結びに、これから始まる2020年総合生活改善の取り組みを通じて、様々な変革へチャレンジし、スズキ労連の仲間とともに魅力ある職場、新たな未来に向けたスタートの年とするための、積極的かつ前向きな交渉、協議をお願い申し上げます。ともに頑張りましょう。ありがとうございました。

すべての議件が、承認・満場一致で可決されました。

【報告承認事項】(報告者)

- ①第48期 中間活動経過報告(渡部事務局長) 拍手にて承認
- ②第48期 中間会計決算報告(村松副事務局長) 拍手にて承認
- ③第48期 中間会計監査報告(中川会計監査人) 拍手にて承認



中間活動経過報告 / 議件
渡部事務局長



中間会計決算報告
村松副事務局長



中間会計監査報告
中川会計監査人

【議件】(提案者)

- ・2020年総合生活改善の取り組み方針(案)の件
(渡部事務局長) 満場一致で可決

【来賓あいさつ】

- ・自動車総連組織内議員 はまぐち誠 参議院議員

【顧問あいさつ】

- ・スズキ労連特別顧問
古川 正明 静岡労働金庫理事長
- ・スズキ労連特別顧問
小玉 俊己 東北労働金庫副理事長
- ・スズキ労連政治顧問
田口 章 静岡県議会議員
- ・スズキ労連政治顧問
岩田 邦泰 浜松市議会議員



古川正明 特別顧問



小玉俊己 特別顧問



田口章 静岡県議会議員



はまぐち誠 参議院議員



岩田くにやす 浜松市議会議員

【各委員のみなさん】

〈議長〉

- ・森 光弘(スズキ労働組合 大須賀支部)
- ・野島 聖子(小楠金属・熱処理労働組合)

〈資格審査委員〉

- ・委員長：中島 大輔(労連中執・スニック労働組合)
- ・河西 克彦(スズキ労働組合 湖西支部)
- ・巴 和弘(スズキ労働組合 浜松支部)
- ・中村 良(スズキ新潟販売労働組合)

〈議事運営委員〉

- ・委員長：飯尾 能将(労連中執・スズキ労働組合)
- ・久保田 圭一(スズキ部品製造労働組合)
- ・和田 真由奈(スズキ販売労働組合)
- ・西田 真司(スズキ納整労働組合)

〈書記〉

- ・大久保 恵子(スズキ労働組合 本社支部)
- ・山田 知美(労連)

〈司会〉

- ・沼田 一幸(労連中執・スズキ部品富山労働組合)



議長団



森光弘(スズキ労組大須賀支部)
野島聖子(小楠金属・熱処理労組)



司会：沼田中執

スズキ労連 自動車総連福祉カンパ

社会福祉法人3施設に **3施設 各1台** スズキ車3台の寄贈を行いました!

スペーシアX車いす移動車を寄贈



老人福祉施設 社会福祉法人なかまの家大杉 (愛知県名古屋市)

2020年1月14日(火)に、社会福祉法人なかまの家『なかまの家大杉』にて、スペーシアX車いす移動車の車両寄贈式を行いました。

『なかまの家』さんは老人福祉施設のデイサービスセンターです。スペーシアが自力で通所できない方の足になると、大変喜んでいただけました。



障がい者支援施設 社会福祉法人 しげのぶ清流園 (愛媛県東温市)

2020年1月16日(木)に、社会福祉法人愛媛県福祉事業団『しげのぶ清流園』にて、スペーシアX車いす移動車の車両寄贈式を行いました。『しげのぶ清流園』さんは障がい者の総合的支援施設です。

車いすの方も多く、スペーシアによって、通所や外出時の送迎が便利になると大変喜んでいただけました。

ソリオGを寄贈

障がい者支援施設 社会福祉法人 見晴学園 そらいろ (静岡県三島市)

2020年1月28日(火)に、社会福祉法人『見晴学園そらいろ』にて、ソリオGの車両寄贈式を行いました。

『見晴学園そらいろ』さんは就労継続支援B型事業を行っている就労支援施設です。坂道も多いため、ソリオを通所や送迎に活用したいと、大変喜んでいただけました。



わくわくすると人は能動的になる

第1回女性委員研修会

わくわくエンジンとは？



自信をもって自分らしく働き続けるために……、第48期 第1回女性委員研修会を、1月18日(土)に呉竹荘にて開催しました。講師には、NPO法人キーパーソン21の代表 朝山 あつこ様、藤谷 仁美様 を迎え、能動的に動き出すにはいられない原動力、『わくわくエンジン』の見つけ方・引き出し方の講義を頂きました。

スズキ労連加盟組合の女性委員46名が参加。時折ゲーム形式の講義も交え、自分でも気づかない自分のわくわくする事の見つけ方を知り、普段の生活や仕事を能動的に行えるようにするやり方を学びました。参加者アンケートでは、「自分を見つめなおす良い機会になった」、「知らない自分を見つける事が出来た」、「女性委員以外でも受ける事が出来ればよい」などの声を聴く事が出来ました。

プレゼンを行う目的とは？

プレゼンとは相手に行動を起こさせる事である

第48期 プレゼンテーション 研修



第48期プレゼンテーション研修(1回目)を、1月25日(土)にSUN会館にて開催しました。講師には株式会社ビジネスコンサルタントの西野 悟さんを迎え、38人(男性36人、女性2人)が参加。

講義ではプレゼンの目的や、ポイントなどを学びました。『プレゼンの良し悪しの半分は、内容でなく見た目など言葉ではない部分で決まる』という事実を、データに基づいて説明されました。講師のユーモアを交えた講義と、参加者同士のプレゼン実践の時間も多く取り入れながら進行了ました。参加者からは、「自分のプレゼンを実際に見てもらいフィードバックしてもらった事で、自分の良い点、改善点を知ることができた」などの声が挙げられました。次回は2回目を4月に開催します。



【未来のお金を貯める方法】セミナー

主催:スズキ労連

節税と聞いてピンと来た方! 今知っておいて損はない!
知る前と後でこんなに差が出る、若手組合員が出来る節税方法



対象 スズキ労連加盟の労働組合の組合員

日時 2020年3月17日(火)
18:15~20:45

場所 SUN会館3F会議室
住所:浜松市南区増楽町20
電話:053-447-3079

講師 株式会社FPユニオンLabo
代表取締役社長 宮越 肇 氏

前回受講者の声

- 講師の方のお話がととてもわかりやすくなりました。
- スズキ労連加盟の組合員という事で組合活用術を知る事ができてよかった。
- 多くの組合員に且つ若い人向けに聞いて欲しい内容でした。
- もう少し詳しく知りたかったです。
- 定期開催して欲しいと思いました。
- ライフプランを考え、まずは自分の保険の見直しをしようと思いました。
- 知らない事で損をしたくないと思いました。

～スズキ労連のセミナーに是非お気軽にご参加下さい～

浜松開催

参加費無料 お申込は組合事務所またはスズキ労連まで(定員100名) お弁当を用意します。

申込締切:2020年3月9日(月) 募集人数に達し次第締め切ります。定員100名

お問い合わせ先:スズキ労連事務局 TEL:053-447-3079 (平日 8:45~18:00)



どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活…
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073

*月~金 9:00~18:00

相談無料・秘密厳守



【スズキ労連】 機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail: muramatsu@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇

<http://saw.gogo.tc/>

*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード… saw2007

【編集後記】

令和という元号になり、一つ日付が変わった祝日があります。はい、天皇誕生日です。平成までは12月23日でしたが、令和からは2月23日となりました。偶然ですが「1」が取れただけなので、分かりやすいですね。ちなみに今上天皇が即位されたのは5月1日なので、令和元年は祝日法施行以来初の天皇誕生日という祝日がない年となりました。 むーらー